

週休2日制確保モデル工事 ～建設現場の環境改善に向けて～

東京都 建設局 総務部 技術管理課 課長 こぎそ 小木曾 まさたか 正隆

1. はじめに

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の成功と、その先を見据え、東京都では社会資本の整備を着実に進めている。しかし、それを支える建設産業は、3Kとも揶揄される厳しい労働環境も影響し、新たに就業する若者が少なく、技能労働者の高齢化や次世代への技術の継承などが大きな課題となっている。

将来にわたり社会資本の整備及び維持管理を安定的に行っていくためには、入職しやすい環境づくりが不可欠であり、特に建設現場の環境改善に資する週休2日の確実な実施が重要である。

そこで東京都建設局では、平成27年度から「週休2日制確保のモデル工事」を実施しており、本稿では、その取組み状況について紹介する。

2. 週休2日制確保モデル工事の概要

東京都建設局が実施している「週休2日制確保モデル工事」の概要は、次のとおりである。

- ・対象とする工事は、発注者が指定（年間発注予定表で公表する）
- ・契約後、受注者は「週休2日制」の区分を選択

する

- ①一週間のうち、土・日曜日の休日を確保
- ②一週間のうち、2日間の休日を確保
- ・受注者は、週休2日の取得計画が確認できる「休日取得計画書」と休日取得の実績が確認できる「休日取得実績書」を発注者に提出し、発注者は「休日取得実績書」により、週休2日の確保状況を確認する
- ・工事完了後、週休2日の課題等を把握するため、受注者に対し、アンケート調査を実施する。
- ・週休2日を確保できた場合は、工事成績を加点する（確保できない場合は減点しない）

3. 取組み状況

(1) 実施件数

週休2日制確保モデル工事は、平成27年度5件、平成28年度50件発注し、そのうち、平成29年3月末までに29件の工事が竣工した（表-1）。

表-1 週休2日制確保モデル工事の
年度別発注件数

年度	件数
平成27年度	5件
平成28年度	50件

(2) 受注者が選択した週休2日の区分

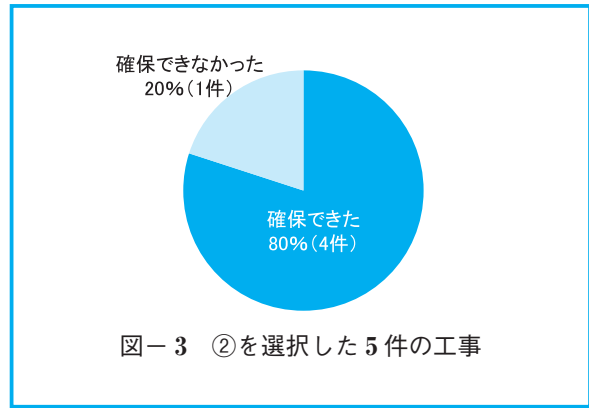
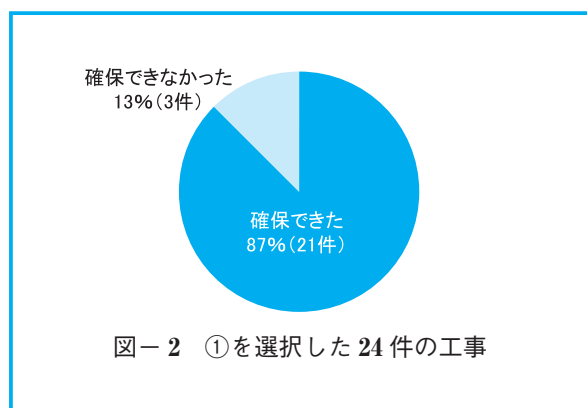
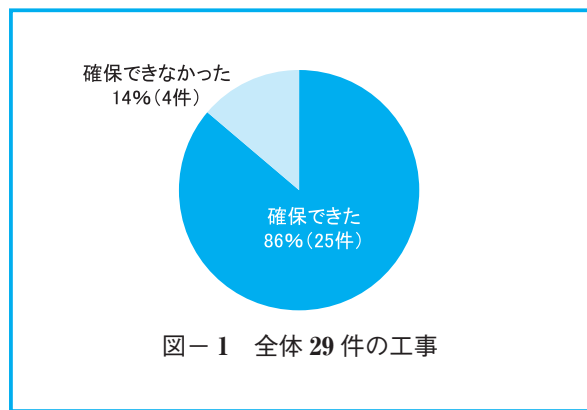
竣工した29件の工事で、①の「一週間のうち、土・日曜日の休日を確保」を選択した受注者は24社、②の「一週間のうち、2日間の休日を確保」を選択した受注者は5社であった。

8割を超える受注者が、①の「一週間のうち、土・日曜日の休日を確保」を選択しており、休日を土日に求める声大きいことが確認できた(表-2)。

区分	件数
①土・日曜日の休日を確保	24件
②2日間の休日を確保	5件
計	29件

(3) 週休2日の確保状況

週休2日を確保できた工事は、全体の86%であった。これを週休2日の区分で見ると、①の「一週間のうち、土・日曜日の休日を確保」の工事は87%、②の「一週間のうち、2日間の休日を確保」の工事は80% 週休2日を確保できた(図-1~3)。



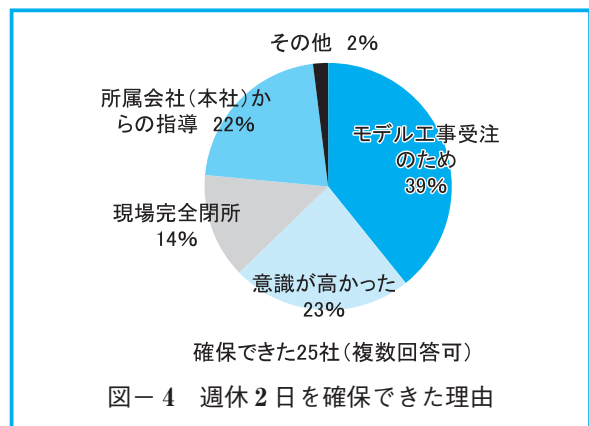
4. アンケート結果

<アンケート項目>

- (ア) 週休2日を確保できた理由
- (イ) 週休2日を確保できなかった理由
- (ウ) 契約工期について
- (エ) 週休2日を普及させるために発注者に求めること
- (オ) 下請け業者からの週休2日に対する意見・要望

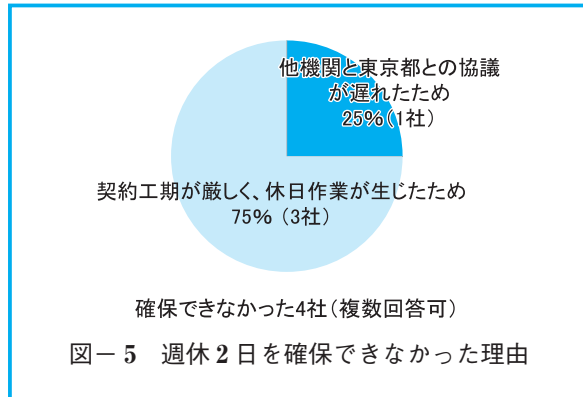
(ア) 週休2日を確保できた理由

週休2日を確保できた理由として、「モデル工事を受注したため」が最も多く、続いて「週休2日を確保するといった意識が高かったため」「所属会社(本社)からの指導、現場を完全閉鎖したため」であった。このことから、モデル工事は、受注者の週休2日を促進させることが確認できた(図-4)。



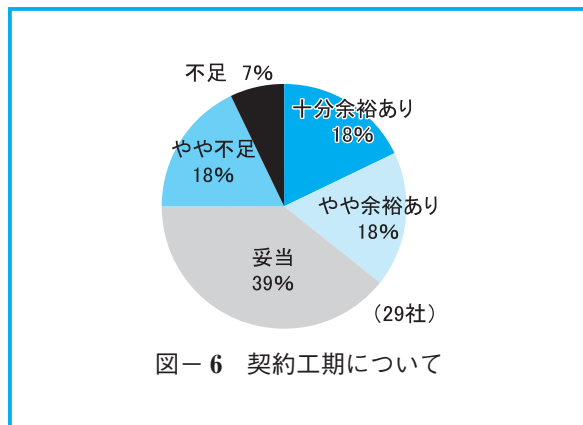
(イ) 週休2日を確保できなかった理由

週休2日を確保できなかった理由として、「他機関と東京都との協議が遅れたため」が1件、「契約工期が厳しかったため」が3件あった(図-5)。



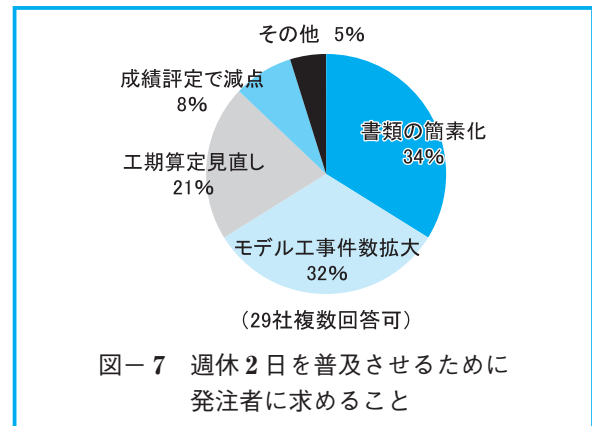
(ウ) 契約工期について

契約工期について、「十分余裕あり」「やや余裕あり」「妥当」と答えた受注者は全体の75%であった一方、「やや不足」「不足」と回答した受注者は25%あった。適切な準備・後片付け期間の確保等により、引き続き適正な工期の設定に努めていく(図-6)。



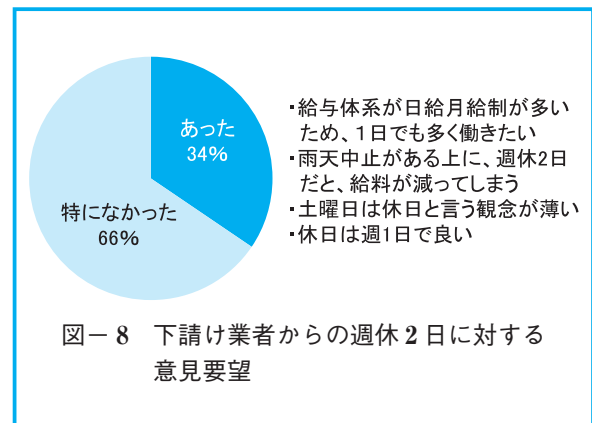
(エ) 週休2日を普及させるために発注者に求めること

週休2日を普及させるために発注者に求めることとして、「書類の簡素化」「モデル工事件数拡大」がともに約3割で、その2つで全体の6割を超えた。その他、「工期算定の見直し」「週休2日を確保できなかった場合は成績評定を減点」などがあった(図-7)。



(オ) 下請け業者からの週休2日に対する意見要望

34%の受注者(元請業者)が、週休2日に対し、下請け業者から意見要望を受けている。その内容は、「給与体系が日給月給制が多いため、1日でも多く働きたい」「雨天中止がある上に、週休2日だと給料が減ってしまう」「土曜日は休日と言う観念が薄い」「休日は週1日で良い」などであった(図-8)。



5. 週休2日の普及・定着に向けて

(1) モデル工事件数拡大

受注者から「週休2日制確保モデル工事」の件数拡大が求められている。

今年度は、上半期契約と債務負担行為の案件をモデル工事として発注する(東京都建設局発注工事の約6割に相当)。

(2) 書類の簡素化

週休2日を普及させるために発注者に求めることとして、モデル工事の適用拡大と並んで書類の簡素化が多い。

今年度、局内にPT（プロジェクトチーム）を立ち上げ、「受注者提出書類処理基準・同実施細目」の見直し作業を実施するとともに、素案完成後、業界団体から意見を頂くこととしている。

(3) 適正な工期設定による工事発注

工期は妥当、余裕ありという意見が7割を超えた。しかし一方で、工期算定の見直しを求める意

見もあった。

昨年度、局では準備期間と後片付け期間の実態調査を行い、工種毎の標準日数を再設定した。今年度から、その新たな日数で工期を算定し、工事発注を行っている。

6. おわりに

東京都建設局では、建設現場の環境改善を更に推し進めるため、今年度から「週休2日制確保モデル工事」に加え、「快適トイレの設置」、女性技術者の配置を求め、女性専用の更衣室や水洗トイレ等の設置を義務付ける「女性活躍モデル工事」を実施する。

また、4月14日には、建設現場における環境改善の機運を高める起爆剤として、受発注者を対象に「建設現場の環境改善セミナー（後援：国土交通省）」を開催した（図-9）。

引き続き、受注者や業界団体と健全かつ良好なパートナーシップのもと、車の両輪となって、建設現場の環境改善を行うことなどにより、将来にわたる公共工事の品質確保と担い手の中長期的な育成・確保を促進していく。

建設現場の環境改善セミナー開催のご案内
～週休二日、快適トイレ～

この度、東京都建設局では、建設現場における環境改善をテーマにセミナーを開催いたします。
本セミナーは、国土交通省や東京都建設局の建設現場における環境改善に向けた取組などを共有することで、参加者の建設現場における環境改善の意識を高めることを目的としています。
つきましては、ご多忙の時期とは存じますが、是非ともご参加くださいますよう、よろしくお願ひいたします。

開催概要

- 日時 : 平成29年4月14日(金) 15時00分～17時00分(予定)
- 場所 : 東京都庁第一本庁舎 5階 大会議場
- 主催 : 東京都建設局
- 後援 : 国土交通省
- 協力 : 東京都技術会議
- 対象 : 東京都各局、区市町村、近隣の県・政令指定都市、建設業者

プログラム(案)

- 1 開 会
- 2 挨拶 東京都建設局 道路監
三浦 隆
- 3 国土交通省における建設現場の環境改善に向けた取組について
国土交通省大臣官房技術調査課 事業評価・保全企画官
榎谷 有吾
- 4 建設局における建設現場の環境改善に向けた取組について
東京都建設局総務部 技術管理課長
小木曾 正隆
- 5 建設現場のトイレ改善による社会的波及効果について
特定非営利活動法人日本トイレ研究所 代表理事
加藤 篤
- 6 週休二日制確保モデル工事を振り返って
新日本工業株式会社(夢の島公園アーチェリー会場基盤整備工事)
今野 真吾
日鋪建設株式会社(野川河床整備工事その10)
藤嶋 延尚
- 7 質疑応答
- 8 閉 会

【お問い合わせ先】
東京都建設局総務部技術管理課 島野、江本(電話)03-5320-5216(都庁内線)40-041

図-9 建設現場の環境改善セミナー